



国際ロータリー第2790地区

# 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	榊原 行夫	幹事	小林 透	雑誌会報委員長	瀬谷 研一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2011年4月第3週号

## 第2309回



平成23年4月15日(金) 点鐘12:30 (晴れ)

- ◆ロータリーソング 『手に手つないで』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### ◆お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー／近藤法律事務所  
所長 近藤 一夫様
- ロータリー財団奨学生応募者／岡田 茜さん

### ■ 会長挨拶及び報告 榊原 行夫会長

- 先週は、素晴らしい夜例会を有難うございました。

### ■ ご挨拶

ロータリー財団奨学生応募者 岡田 茜さん

「現在は、海浜幕張にあるジェトロアジア経済研究所にて開発途上国の援助の専門家になるために勉強しております。この度は、貴クラブから推薦頂くことになりまして、大変有難く嬉しく思っております。来月の選考会で一生懸命頑張りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

### ■ 出井 清会長エレクトより

◇先日、PETS へ行ってきました。次年度がもう始まったのかなあという思いです。4/24(日)、アパホテルにて地区協議会が開催されますので、該当者の方はご出席、宜しくお願い致します。また、5/27(金)に次年度、理事・役員及び委員長会議を行いたいと思っておりますので宜しくお願い致します。次年度RI会長、カルヤン・パネルジー氏(インド、グジャラート)は、RIテーマとして、「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」を掲げられました。会長の方針に習って一年間頑張っていきたいと思っております。

◇東京電力に勤務されている中沢会員と山口会員が、今、受けているダメージを会員として受け止めて励まして

あげなければならないと思うのです。お二人を全面的にバックアップするよという気持ちを分かってく頂きたいと思っておりますので、そういった会合を開くことがありましたら、会員の皆様のご参加を頂き応援したいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

### ■ ニコニコボックス報告

#### ☆植松 省自会員

近藤先生、本日の卓話、宜しくお願い申し上げます。寺澤さん、写真有難うございました。

#### ☆大野 良亮会員

このたびの選挙で、私が後援会長をしている県議が無競争で3期目の当選を決めました。皆様のご支援、有難うございました。

#### ☆北原 俊彦会員

先週の夜例会、大勢のご参加有難うございました。満開の桜の花を見ながらの楽しい一時でした。

#### ☆向後 保雄会員

先日の市議会議員選挙では、皆様にお世話になり、上位当選をする事が出来ました。誠に有難うございました。本日は、近藤先生、卓話をよろしくお願ひ致します。

#### ☆出井 清会員

今週、PETS(会長エレクト研修セミナー)に行ってきました。いよいよ、次年度が迫って参りました。会員皆様の絶大なるご協力をお願い致します。

本日のニコニコボックス	10,000 円	累計	551,000 円
金の箱	230 円	累計	29,269 円

### ■ 出席報告 (会員数39名)

出席者数33	欠席者数 6	ビジター 2	修正出席率 86.84%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#)にご利用下さい

千葉RC	月	5/2・16	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	5/10	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	5/17・24	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	—	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	5/12	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	—	京成ホテルミラマーレ

## 演 題…『東北関東大地震が日本経済に及ぼす影響』 卓話者…近藤法律事務所 近藤 一夫様



ご紹介に預かりました近藤でございます。  
現在、弁護士をしながら、ロータリークラブではなく習志野中央ライオンズクラブに属しており、7月から次期会長ということになっております。今日は、ロータリークラブで勉強させていただく目的で、普段は飲み仲間の向後先生(会員)のお誘いに見事に引っかかってしまいました。

当初、卓話のお話をいただいたのが震災前でしたので、スリランカのことをお話ししようと思ったのですが、テーマを「東北関東大地震が日本経済に及ぼす影響」に変えさせていただきました。しかし、今日はジェトロの関係の方もいらっしゃるの簡単にはスリランカのことをお話ししたいと思います。2年位前までスリランカはずっと内戦が続いていたのですが戦争が終わり、今は経済復興中です。私は7~8年前から毎年のようにスリランカに行っていました。さすがにイランとイラクは危ないので行きませんでした。当時、その週の死者の一番多い国がイラクで、二番目がスリランカでした。私も、その被災地に入りまして「ここは安全なのか?」と聞きましたところ「いや、大丈夫だ」とスリランカの友達は言うのです。どうしてなのか理由を聞きますと「まだ外人で死んだ人はいないから」と。近藤先生には一番安全なホテルを用意したからというので、「どこ?」と聞くと軍の本部のとなりのホテルでした。兵士が大勢いるので、一番狙われるのではないのかと私は思いましたが、確かに回りは厳重でした。

スリランカは、人口が1800万人位なのですが大臣が130人位いるのです。どうして多いかといいますと、政権与党は政権を安定させるため、元気でうるさい野党の先生をも大臣にしてしまうからなのです。今の日本の閣僚ポストに似たところもありますが、スリランカではそれが常態化しています。

今、私はスリランカの銀行や証券会社の仕事を少しやっていますが、戦時中ですと金利が高く、例えば銀行ですと18%位で回っていました。銀行の定期預金だと5年もので一番高い時は24%位までいっていました。今は落ち着いているのでかなり下がっており、5年ものでも12%、国債なら10%位の金利です。金利を比較すると、どのような国かというのが何となく解ります。

去年の夏休みは、そういった危ない国のひとつであるアイルランドに行ってきました。とは言っても、普通の人は昼間からパブでギネスの黒ビールを飲んでいるような状態です。どうもユーロの危機がひとつの原因になっているようなのですが、普通の人は全然変わらないし、以前来た時よりも高速道路はじめインフラが整備されており、一時景気のいい時に全部インフラに投資していたのだと実感しました。

今回の地震に関わる話ですが、その前の様子は、アメリカとヨーロッパでユーロは一つの政策として、通貨量を1.5倍に増やしてインフレ傾向に誘導しようとして、そのお金が投機筋に流れた結果、金や穀物、原油が値上りしました。マーケット的には、ユーロはアイルランドの他に、ギリシャ問題、スペイン問題、ポルトガル問題、アラブの独立問題をかかえて非常に弱かったため、これが日本市場に流れて来るという動き



が見られていました。中国系ファンドも結構大きなお金を持っているのですが、直接投資はどうしても日本との関係があって出来ないで実際のところ迂回させて、香港とかシンガポール経由で日本に入る動きが見られていました。前回のリーマンショックで外資系のファンドマネージャー、アナリスト達が大量に解雇されていたのですが、彼らが雇用される動きが見られたからです。そして日本に会社をつくって、シンガポールから資金を調達し、そして、実際のところ不動産にその資金を投下しようという動きが非常に見られていました。私も、仕事を通じ外資系の持っている不動産の処分や会社の事業再生などで感じておりました。

ところが3月11日の午後2時46分の大地震で、最大の経済危機ともいわれるように、前回の神戸地震の時とは比較にならないくらい日本全体が被災者になってしまいました。千葉もそうですが、箱根もどこもいろんな旅館とかホテルが全部キャンセルとか。電力も総供給量が3100万kw切るようなら停電も仕方ないと思っていたのですが、JRも止まるとなると困りものです。そういうところが神戸の時と大きく違ってきます。

私は神戸の地震の時も弁護士として仕事をやりました。お父さんの遺産で、ポートアイランドのマンションを2億円で5棟買って、この家賃収入で暮らして行こうとした方が地震で潰れて価値が無くなり、私が自己破産手続きをやった経緯がありました。あの時の液化化現象が、今回の地震でやはり浦安や私の家の近く、習志野の香澄というところで同じように起き、不動産としての価値が無くなってしまいました。ポートアイランドは実際のところ、16年経っても価値が無いままです。浦安の不動産は、千葉の中ではブランドと言われていました。これが、価値が無くなると怖いことになります。皆さん住宅ローンを組んでいるはずですからどうなるのでしょうか。

インフラ、特に上下水道が酷かった。私は、習志野市の代表監査委員を5年間やっていますので、3・11で起きた液化化現象について市の土木担当部署の職員さんから直接聞いたところ、「埋め立てというのは、海中の砂を吸い上げて流し込んでいるだけなので、同じ埋立地でも砂で締まっているところもあれば泥を吸い上げたところもあり、そういうところはジャブジャブしている。泥を吸い上げたところも砂鉄などが混ざっていると、それが下方に沈下するので泥だけが上方に残ってしまう。」とのことで、そのようなところが一番被害甚大だったようです。習志野市香澄がそういうところかどうか尋ねると、「もっと酷い。あそこは県の水道の本管が折れたが、県が止めに来なかったのでジャブジャブのところ、その水も入ってしまった。県が処置しなかったので習志野市の水道局が止めに行った。職員は24時間体制で復旧活動をしていたところ、下水の本管も壊れてしまったが処理が出来ない状態だった。」そうです。習志野市には菊田川という川が流れているのですが、仕方なくそこに未処理で垂れ流しです。私の専門家の立場でいうと、水質汚濁防止法違反です。多分、浦安も同じことをやっているのだらうと思います。それでは流石にまずいので、フェンスを張って薬剤を撒いて処理しています。

今後の影響として、浦安もブランドとしての価値が無くなって、神戸のポートアイランドと同じ現象が起きるのではと思います。神戸地震後、液化化現象が知られたので、固い地盤まで杭打ちしていますからマンション自体が倒れることはありませんが、地盤沈下してしまうので建物が浮き上がってしまいます。構造体としては大丈夫なのですが、そういうイメージが定着してしまうと今後どうなるのでしょうか。そういう意味で千葉県全体としても、浦安のブランドが損なわれたということはダメージでしょう。実際、それまで日本

の不動産を買いに来ていた外資企業は、完全に撤退してしまっています。

東京電力関係の原子力の汚染のニュースも、外国の方は東京中心に日本は放射能で汚染されていると思込んでいるので、日本全体のイメージが損なわれていると思います。向後先生と私が共通して関わりのある外国人の方の会社があるのですが、トップの社長だけ残して他の外人は帰国したとか。その方がガイガーカウンターを持ち、メガネは花粉防止用のゴーグルみたいなものを掛けて私の事務所に来まして、部屋に入るなりガイガーカウンターで計測し、「ここは大丈夫だ。」と。このように外人の方は非常に日本は危ないというマイナスイメージを持っているようです。もうひとつの例として、オーストリアの会計士が地震後に日本に行くと言った途端に、主治医からヨウ素剤を1ヶ月分持たされたそうです。これからどうすべきかですが、日本の政府も「安全です。」というイメージを打ち出すことと、いろんな検証が必要になるのだろうと思っています。

次に、日本の経済の動向ですが、いろんな情報を聞いていると今期は大体の銀行はいい決算が出るはずなので、実際のところお金は出せます。どうして出せるかという国が、震災の復興のために出せというからなのです。一方、外資系企業は、恐らく様子見をするのではないかと考えています。ですから逆に支援法案、救済法案ではありませんが、今は支払猶予が取り易い時期でもあります。政府の発表では16~25兆円の損害というけれど、銀行からの融資が出るのなら大丈夫だろうと思いがちです。神戸の時は、震災復興で例えば建設株も当時2倍ぐらいまで上がりました。しかし、今回は一旦初日は上がったけれど、その後は余り上がりません。どこが違うかという、一つは規模が全然違う、つまり被災者が日本全体になってしまっているところ。お金を出せば景気は良くなるといいますが、オリンピックなどをやるときは、元々無いところにお金を出してモノを作るから景気が良くなるのです。しかし、今回は突然大きく沈んだところにお金を出すので、せいぜい少しそれを埋め戻すだけです。なかなか経済の行方は判り難いのではないかと考えています。

もう一つは、今噂が出ているのは企業の立地です。今後、東北の地盤が危ないとなると産業、特に製造業が地震の無いところに移転しようという動きが加速するだろうと思います。諸事情で東北から動くことが出来なかった企業がこれを口実に、極端に言えば、日本から出たいと思っていた企業が地震の無い大陸に移転しても、あくまでリスク分散という名目になります。ですから、やはり政府として何とか地場産業を守る動きをやるのだろうと思います。

あと一つは、エネルギーの見直しです。しばらくの間、原子力はなかなか難しいだろうから、LNG(液化天然ガス)になってくるのではないかと思います。これからロシアが樺太のサハリン1号、2号を日本に売り込みに来るのではと思っています。

日本のインフラやその他が全て国内でリンクしている中で何をなすべきかと考えますと、やはり生き残りの戦略は「読む力」と「繋ぐ力」そして「問う力」の3点になるでしょう。「読む力」とは、その時代の流れ、先を読むということです。大きな構造の変化、これから3・11後をどう読んでいくかということです。「繋ぐ力」とは、人と人を繋ぐということ、そして価値と創造を繋ぐということ、さらに知恵を繋ぐということ。そして、「問う力」とは、自分を変えると、自分に求められているものは何か、自分の強みは何か、と問うことなのだろうと思っています。

今回の地震でどんな構造変化が起きるのか、新しい成長戦略を考えねばならないのだろうと思っています。今は、中国、外国人が引いてしまっている中で、大きな市場の中国をどうしたらいいのでしょうか。そんな時に日本の強みとは何かと考えると、確かにトヨタとかもあるのですが根底に流れているのは「サービス」なんです。「ジャパニーズデリカシー」と言うのですが、例えば中国人が一番感動するのは日本の靴屋さんだそうです。日本の靴屋さんは、膝まづいて足を合わせてくれる、それに感動するのです。そんなこと中国の人はやってもらったことが無い。同じように、大金払ってもやりたいと言うのはネイルアーティストに一つ一つネイルデザインをしてもらうことだそうです。そういうサービスも中国には無いらしいのです。もう一度、日本の「ジャパニーズデリカシー」という精神構造で、何とか日本を復活出来ないものかと思っています。

もう一つ、「繋ぐ力」と申しました。「繋ぐ力」とは何かと言いますと、知恵を繋ぐと価値が生まれるということです。私の関わった人の話ですが、トイレットペーパー1個20円位をその10倍の200円で売るにはどうしたらいいか、ということをやった人がいます。トイレットペーパーに3分間で読めるホラー小説を印刷したら、丸善でヒットして売れたそうです。トイレットペーパーと作家を繋ぐということはなかなか思いつきません。そういう人と人を繋ぐ価値、価値創造が今回、復興にあたり何か東北と結びつけるヒントになればと思っています。今、被災した所で採れた野菜などを売っておりNHKでも取り上げていますが、やはりその人たちを助けなければという思いがあつて、私たちもその野菜を買って食べようとか、何か支援出来ること出来ないだろうかと、そういう価値と価値、人と人を繋ぐことで、復興に繋げられるのだと思っています。

最後に「問う力」というのは、自分自身を問うこと、そこからイノベーションとか、革新ということが浮かびますが、何かもう一つこれを問い直してものを売ることが出来ないのだろうか、「感動」ということに結び付けられないかと考えてみます。感動というのは心を動かすということですが、どうしたことなのでしょう。今日から再開した東京ディズニーランドは、百貨店の免許を持っています。何と日本で売上げ一番の百貨店は、あの東京ディズニーランドです。一人一人に感動を与えているからこそ成し得ることなのでしょう。

そういうことで、今回、東北の復興に繋がるキーワードとか、きっかけになれば良いと思って、ここに締めくくりたいと思います。

ご清聴、有難うございました。

(文責 伊藤 和夫会員)



#### 第2310回例会

日時⇒ 平成23年4月22日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『ゆめ半島房絵の美術』

卓話者⇒ 川合 征栄会員

#### 第2311回例会

日時⇒ 平成23年5月13日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『千葉市の産業振興戦略について』

卓話者⇒ 千葉市経済部長 皆川 達也様